

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成23年度第1回定例会議
開催日時	平成23年4月27日（水曜日） 18時30分から20時30分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	<p>会長：大島眞之 副会長：千葉桂子 委員：幸内悦夫、定盛秀俊、渡辺文子、古賀節子、須磨田純子、森忠、加藤真理、萩原建次郎、上田幸夫、西嶋剛昭、柴山隼、福島憲子 職員：相原館長、大平主幹、川口館長補佐、寺嶋分館長、小笠原分館長、長谷部分館長、平井分館長、市川（孝）</p>
欠席者	なし
議題	<p>(1) 第12回定例会の記録について (2) 報告事項 1 行政報告 2 事業計画書・報告書について 3 公民館だより編集室報告 4 都公連定期総会報告 5 利用者懇談会報告会 (3) 協議事項 1 諮問事項「西東京市公民館の事業評価のあり方について」 (4) 事務連絡および情報交換</p>
会議資料の名称	<p>(1) 事業計画書 1 ムービールーム柳沢（柳沢） 2 ロビーコンサート（柳沢） 3 農業を知る講座（谷戸） 4 アロマセラピー講座（芝久保） 5 地方財政分析講座（駅前） 6 「今どきの若者」から読み解く現代社会（駅前） (2) 事業報告書 1 あめんぼ青年学級（田無） 2 くるみ学級（柳沢） 3 ちいさな展示会（芝久保） 4 ロビーコンサート（柳沢） 5 市民講座 国際理解のための講座1（田無） 6 市民講座 国際理解のための講座2 ロシア語基礎講座（田無） 7 ママカ（ぢから）アップ講座（芝久保） 8 現代社会の子育てビジョン（田無） 9 編集入門講座（柳沢） 10 ステンドグラス講座（芝久保） 11 西東京の歴史を歩く（柳沢） 12 地域カパワーアップ講座（芝久保） 13 中国古典講座（芝久保） 14 いきいきセカンドライフ（田無） 15 文学講座 新しい「教科書文学」から読み解く現代社会（谷戸） 16 農業を知る講座（谷戸） 17 高齢者講座「田無カレッジ」（田無） (3) 公民館だより編集室報告</p>

	(4) 利用者懇談会報告 (田無・芝久保)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input type="checkbox"/> 有り (人) <input checked="" type="checkbox"/> 無し
会議内容	
<p>(1) 第11回定例会の記録について 配付した記録のとおりとする。</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>1 行政報告</p> <p>○館長：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、4月1日から30日まで午後6時以降の夜間帯を臨時休館している。 ・影響を受けた団体は6館合計で602団体。 ・5月1日からは通常開館する。 ・前回配布した「東北関東大震災関連の報告」の数値訂正。以下のとおり。 帰宅困難者…柳沢25人→22人、田無15人→6人、保谷駅前200人超→150人 宿泊者数…柳沢16人→14人、田無10人→5人、保谷駅前30人→35人 ・4月1日人事異動について。()内は旧所属 異動(4月1日付) 大平晋助 保谷駅前公民館分館長(都市整備部下水道課) 長谷部新一 谷戸公民館分館長(市民部資産税課) 近藤均 福祉部生活福祉課(保谷駅前公民館分館長) 清水卓志 監査委員事務局(田無公民館) 保谷しげ美 柳沢公民館専門員(ひばりが丘公民館専門員) <p>新規採用(4月1日付)</p> <p>竹路子 柳沢公民館専門員 大江正子 田無公民館専門員 小池素子 田無公民館専門員 小幡洋子 谷戸公民館専門員 牧野有美 ひばりが丘公民館専門員</p> <p>2 事業計画・報告書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムービールーム柳沢について <p>○委員：</p> <p>アンケートなど感想や意見の収集はどのように行うのか。</p> <p>○職員：</p> <p>昨年度にアンケートを実施したこともあるが、なかなか記入していただけなかった。上映前後のコミュニケーションの中で貴重な意見や感謝の言葉をいただくことが多々あり、現在はそれがメインとなっている。今後アンケートも含めて考えていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くるみ、あめんぼ学級について <p>○委員：</p> <p>人数が限界にきていると思うが、学校などとの連携で対応していくことは考えているか。</p> <p>○職員：</p> <p>養護学校と連絡を取った結果、今年は人数的には大丈夫だが来年は多くなりそうだとのこと。</p>	

○委員：

スタッフが定着してほしい。スタッフ会議は実施しているか。

○職員：

実施の都度スタッフが集まり反省会を行ってコミュニケーションを取っている。くるみ学級では年に1度保護者会を行っている。

○委員：

大学の教職課程に目をつけることで、スタッフ確保できるのでは。

○委員：

公民館主催講座とスタッフ確保が結びつくような企画があってもよいのでは。

・いきいきセカンドライフについて

○委員：

内容がとても良いのに人数が少なかったのは意外。PR不足という認識は？

○職員：

ホームページにアップしたり、チラシを配ったりと広報はしっかりしたという認識。人数より質を観点に考えれば評価はむしろ高いといえるのでは。

・地域力パワーアップ講座について

○委員：

報告書では「保護者・学校・地域が連携していくことのきっかけとなった。」とあるが、回数の少なさによりそこまで達していないのでは？

○職員：

とてもハードルの高い講座という認識があり、長期的な目で見ると今回の講座の目的は果たせていると感じる。重要なのは来年度以降どのように具体化していくかということ。

・「今どきの若者」から読み解く現代社会について

○委員：

計画書を見る限りネガティブな側面しか述べられていない。ポジティブな終着点を。

○委員：

「利用層拡大」とあるので、広報の方法も工夫してほしい。

○委員：

この表題から若者が集まるとは思えない。むしろ今の若者を知りたい人向けという印象を受けるがなにか若い人を呼ぶ仕掛けはあるのか。

○職員：

目的は現状を正確に認識することであり、暗いが目を背けずそこからどうポジティブな方向にもっていけるかということを目指す。

・国際理解のための講座2 ロシア語基礎講座について

○委員：

ロシア語を学ぶことで何が得られるのか。語学塾との違いが報告書から伝わってこないが。

○職員：

ロシア語を学ぶだけでなく、国際理解に結びつく内容を取り扱っており、表題の目的は達成されているという認識。

3 公民館だより編集室報告

詳しくは添付の報告書のとおり。

特記事項としては「公運審コラム」の書き方について。23年度は「公運審委員として、公民館の魅力や公民館への思いなどを自由に書く」ということで一致。

○委員：

今までは口頭での報告だったが、今回の報告書はとても分かりやすく、今後継続してほしい。

○職員：

編集室会議は月初めで公運審定例会との間がかなりあいているので、報告書にしたほうがよいと思う。次期委員に引き継ぎたい。

その他特に質問なし。

4 都公連定期総会報告

稲城市、多摩市の脱退が決定。10市1町に。

参加費について、今までは市に何館あるかで決まっていたが一律2万円に。

会場が今度は立川に（1万人収容）。詳細はあり方検討委員会の資料を参照。

今年の大会事務局は日野。開催市の負担軽減ため分科会別に複数市での協力開催も視野に。

5 利用者懇談会報告会

田無（3月12日（土曜日）午前9時30分～10時30分）

地震翌日にもかかわらず多くの利用者が参加。連絡箱調整会のためか。

芝久保（3月10日（木曜日）午後6時～8時）

だんだんと、公民館対利用団体という図式から利用団体対利用団体という話し合いの場になりつつあるという印象を受けた。

※上記懇談会の詳細については添付の報告書を参照

田無、芝久保以外は震災の影響で中止。

(3) 協議事項

1 諮問事項「西東京市公民館の事業評価のあり方について」

上記の諮問事項について、会長より館長へ答申がなされた。

内容については配布の答申を参照。

(4) 事務連絡および情報交換

田無公民館の利用者連絡会の立ち上げについて（委員）

現段階でまだ立ち上げには至っていない。田無公民館まつりなどで賛同者を募って立ち上げたいと思う。

○委員：

準備会をもっと長期間で予定し、ゆっくり段階を踏んで確実に組織していければよいと思う。

週刊朝日増刊号の取材について（職員）

震災に関し取材を受けた。指揮運営や備蓄などについて公民館の震災対応について回答。

○委員：

公民館を避難所として活用する場合、部屋が複数、トイレが大きいなど適している施設といえる。また連絡組織の存在が大きく、現地では避難所運営が気持ちよく過ごしやすいという声も。

最後に任期満了に伴い、各委員に挨拶をいただいた。

(5) 次回の日程について

新規委員での開催となり、日程は以下のとおり

5月25日（水曜日）18時30分

於：田無公民館 第2学習室